

令和5年度川口市文化芸術審議会第2回文化芸術拠点活用方法検討作業 記録簿

日時 令和5年10月18日(水) 10時～12時

場所 川口総合文化センター 2階会議室

出席者 (委員) 原田会長

寺久保委員 山下委員 宇田川委員

大西委員 川田委員 齋藤委員

(事務局) 藤田文化推進室長 菅井室長補佐 尾崎主任

(受託事業者) 5名

	発言者
<p>【1 開始】</p>	
<p>【2 会長あいさつ】</p>	
<p>【3 前回作業記録簿確認】</p>	
<p>【4 検討内容 文化芸術拠点活用方法の検討について】</p> <p>「第1回検討作業(10月3日)まとめ」及び「関連事例」について 受託事業者より説明</p>	受託事業者
<p>本日はさらに資料をもとに皆様より色々のご意見、情報提供・ご提案もいただきたい。</p>	会長
<p><「事例2 赤ちゃんと展示を楽しむ」という事例について></p> <p>子育てサポートセンターを港区長時に整備した。保育園と違い、365日24時間子どもを預かる。お母さんのちょっとした息抜きでき、音楽・美術鑑賞等ができる施設を作った。</p> <p>内容としては赤ちゃんを預かって子育てを行う制度。母親がストレス発散のため美術館に行き、鑑賞を行う。</p> <p>記載の事例は今の時代にふさわしい内容であると感じた。</p> <p>美術館と子育て対策を絡めて実施するという事は良い発想である。単なる美術館でなく、子育ても可能な美術館という考えは必要だと思う。</p>	会長
<p><「事例15 インクルージョン」というキーワードについて></p> <p>ダイバーシティ、育児、インクルージョンの3つのワードは世界中の政策のキーワードになっている。</p> <p>その中で、視覚障がい者の方にイルミネーションや火などの体感をいただくことは非常に素晴らしいと思う。運営によってインクルージョンの活動をすることや、子育て・インクルージョンという視点で美術館を活用する</p>	会長

<p>ことはよいと思う。</p> <p>ダイバーシティという話が出たが、川口は外国人の方が多い。ニュース等で日本の文化にそぐわない不平不満が多い外国人が報道されるが、普通に生活している外国人も多く、かなりの割合で子供の層から外国人層がいらっしやる。自身の子供も小学生だが、体感5分の1程度の子供が外国人層。</p> <p>中国のルーツの子が川口に住んでおり、絵画教室に来ていたが、大きくなって話を聞いてみると、「アートは自分のルーツが日本になくても楽しんで製作できるため、心の安定に良かった」という話があった。</p> <p>外国人ということではなく、様々な理由で川口に移り住んでくる人も多い。一つのことで皆が一緒に楽しめることにアートは有効である。背景が異なる人でも美術館に来ることで楽しめるような、そういった意味でも美術館が拠点になれば良い。</p>	委員
<p>アートや音楽を通じて多様性のある社会が動いていく、それが美術館の大きな役割であると感じる。</p> <p>アートを通じて価値観を超えて一緒になれる、一体感を持つという意味で美術館が役に立てれば良い。</p>	会長
<p>人口60万人のうち4万人が外国人。日本で一番多い。それを利点として何かしら国ごとに紹介する作品の展示等文化の発信ができると良い。</p> <p>外国のルーツを持つ子供が多い。教科書の英語版がないかとの問合せも多くいただく。英語以外の母国語の子も多い。生活言語ではなく学習言語についていけず苦労してしまう場合がある。そういった場合は特別学級になってしまうこともある。そういった子どもを対象に居場所づくりとしても美術館を活用できると良い。</p>	委員
<p><「B②子どもが保護者を連れてくる仕掛け」について></p> <p>リリアで開催された音楽ホールでのイベントを子供と一緒にいった際に、ママ友に話を聞いたところ、初めて音楽ホールに入ったという人も多かった。</p> <p>普段アートに触れておらず、興味のない人が多い中で、川口市セブンやアトリアを知らない人もいる。そのようなあまりアートに詳しくない、興味が薄い層人を連れてくる施策は大切だと思う。</p>	委員
<p>外国でビジネスをやった時に文化を話せないことが話せないことはもったいない。海外では必ず、相手から自国の美術等について聞かれる。私たちは、若い世代の中に、日本のコアカルチャーが理解できている人を醸成し</p>	委員

<p>ていく機関となれば良い。</p> <p>サブカルチャー・ミドルカルチャー・コアカルチャー・ハイカルチャーなどを包括してまとめられるような美術館だとよい。ただ、その文化をまとめていく方法をどうするのかは検討が必要。</p>	
<p>例えばインクルージョンやダイバーシティについて発言したが、福祉や子育て部門や教育委員会との絡み、公園等の部門等、役所的には多くの部門が絡んでくる。これから組立方がカギになる。</p> <p>日本の文化も大変すばらしいものがある。佐渡に多い「能」の文化などもあるため、西洋美術だけを扱うのではなく地元川口の地域に広がるような美術館になっていくとよいと思う。</p>	<p>会長</p>
<p>海外に行った時に、剣道や柔道、茶道等の日本文化を勉強していたので、全く知らない海外の方に話すことですぐに友人になれた経験がある。そのように地元の方が美術館を通して川口市の文化を知る、外に出たときに川口はこういう町なんだよ、と紹介できるようになるとよいと思う。</p>	<p>会長</p>
<p>川口は外国人が多い国際都市でもある。自分は国立能楽堂に務めていた経験があるが、能楽堂の良さがアピールできていないと感じた。</p> <p>美術館に来る道中に能や美術を観る準備ができるような、美術館やリアに入るまでも楽しめるアプローチができるとよい。日本の伝統的な絵画を展示する際にも通路などで日本文化を表現する。</p>	<p>委員</p>
<p>将棋を能舞台でやる事例も出てきている。</p>	<p>会長</p>
<p>他の美術館で能や日本文化と一体化した運営をやっている館は無い。</p> <p>高知の美術館では、美術館内にホールがあり、そこでは能もできる。ホールと一体化した運営はよいと思う。</p>	<p>委員</p>
<p>地域の人にとっては川口らしさを実感できる美術館、外国の方には日本を理解できる美術館になれば良いのではないか。</p>	<p>会長</p>
<p>川口市民は鋳物に興味がないと思う。今教育が大変。チームラボのプロジェクトなどを行うと子供も喜ぶと思うのでたまに開催するとよいと思う。</p>	<p>委員</p>
<p>美術展には常設展があるのか？</p> <p>→市内県内の作家の作品で常設展を想定している。他館から作品を借りてきて企画展も想定している。</p>	<p>委員 事務局</p>
<p>→チームラボの企画はぜひ行ってほしい。</p>	<p>委員</p>

<p>→展示ホールなどでは現代アートのようなものも展開は可能。</p>	事務局
<p>時代の流れだとは思いますが三味線やお琴を知らない子供もいる。展示の中で日本文化を扱ってもよい。子供たちが来館した際に日本舞踊がみられるような展示をすることも考えられる。</p> <p>しかし海外で三味線の演奏を行うと満員になる。海外の人が期待しているのは日本の伝統的な音楽であった。美術館でも1年に1回でも日本の伝統的な音楽等を展示してもらえると良いと思う。</p>	委員
<p>三味線や浮世絵など、アートと音楽を絡めることは良いと思う。</p>	委員
<p>トルコの民族楽器に三味線に似たような楽器がある。日本の三味線とトルコの楽器を並べて展示すると世界史や地理の勉強にもなると思う。浮世絵にも通じるものがあると思う。これこそ企画展になるのでは。</p>	会長
<p>60歳過ぎてからモダンバレエの指導者で三味線を始めた人もいる。日本の文化をもう一度見直して、雰囲気とその都度変えられるような提案ができれば。</p>	委員
<p>市が主催していた鳩ヶ谷の幹線道路沿いをキャラバンしていくお祭りは2、3日で集中的に行うため、川口の拠点になるようなお祭りではない。川口らしさという点で、鋳物が発展する前の川口市の文化伝統を発掘することは難しいと思うが、明治の前などの川口市ができる前はどうか、など掘り出す余地はまだあると思う。</p>	委員
<p>現在、アトリウムで三味線や他の音楽や能などを実施できれば。今回の美術館は教育に利用することにも力を入れている。そういった伝統芸能にも触れられるようなアトリウムの使い方も非常に良いのではないのか。</p>	事務局
<p>伝統芸能はすぐに定着するようなものではない。ニーズが少なくなっているが残っている。西洋人はすべてアートとなっていて根こそぎ文化が変わっている節がある。その枠組みのなかでの多用途公平、という感覚に西洋文化を感じる。日本では逆で、時間がたつと花開くといったこともある。</p>	委員
<p>チームラボ、川口市内の実験工房があると聞いた。大熊氏廣も有名。静岡県島田市にお茶のミュージアムがある。3つの区分にエリアが分かれ、一つが茶の体験ができ、もう一つが世界各地のリビングが再現してある。もう一つのエリアでは引出が多くあり、色々な茶葉が入っていて香りの体験ができる。このミュージアムの体験は面白いと思った。</p>	委員

川口の体験として、盆栽や釣り竿も有名である。色々な体験もできるのではないか。	
21世紀美術館の体験で、「4年生」を招くという部分がポイントだと思った。練馬区美術館で以前館長をされていた若林さんは元サントリー広報にいらっしやっただの広告マン。当時は企画が非常に面白かったので、企画は重要だと思う。	委員
愛媛県伊予市の民俗資料館を訪れた。伊香保温泉の美術館に収蔵庫を見せる展示が面白いとお話があったが、この資料館でも様々な農具を見せており面白いと思った。川口元郷にも文化センターもあり土器などもあるが、それを使って収蔵庫や展示等を作ったりすることもあると思う。	委員
私が子供のころは川口市の3大産業「鋳物」「植木」「釣り竿」といわれていた。現在釣り竿は川口の主要産業と言われなくなっている。	事務局
美術をばらばらのジャンルでなく、何かしら統一させられたらと思う。日本の美術用語は、すべて明治の西洋からの翻訳語を使っている。特にかな文字は造形の組み方が面白い。西洋建築と異なり、日本は金閣寺等を見ても造園が建築を飲み込んでいる。コアの思想が違うのではないかと思う。そこを見抜いていくと、コアの両面から何かを生み出していくことが課題になるのではないか。	委員
今では簡単にモニター上で映像を作ることができる。小学生にスマホを利用して映像と俳句を重ね合わせた作品を作ってもらっても良いのではないか。そして日本語に親しみつつ学べる環境があるとよい。	委員
美術館で「昔を学ぼう」などの企画もあると思う	委員
ルーマニアの大使が俳句の本を出版された。海外の方も俳句について関心を持たれている。絵などを組み合わせて俳句の勉強ができるとよい。	会長
美術や音楽では、言葉は不要であるが、俳句の翻訳は難しい。日本語が一つの大事な文化ツールになってくる。	委員
小学生の読書感想文の「アート感想文」のようなコンクールがあるとよい。鑑賞したものを言語化して他の人と共有できるようなコンクール。小学生の夏休みの宿題とするのもよいと思う。	委員
賛成。自分の美的判断を子供のうちから磨いていけるような、アートを観る	委員

<p>ことのできる人、聞くことができる人が増えるとよい。</p>	
<p>委員の話にもあった日本文化という点で、日本建築について。日本建築の特別な部分としては法隆寺のようないかに自然に見せるかの造形が多い。木造と石造の違いもある。ドイツのミースファンデルローエ等の海外の建築家が日本建築に影響を受けているようにお互いに良い影響を与えられるとよい。いかに自然にみせるか、イレギュラーな空間を造るかが日本の伝統建築だと思う。</p>	<p>会長</p>
<p>日本の伝統建築の深い味わいに世界の人たちは気が付いていくと思っている。</p>	<p>委員</p>
<p>美術館の運営の中でコア的なものをどう見せていくか、大きなポイントであると思う。</p>	<p>会長</p>
<p>この美術館はどんな建築になるのか？外観は？ →イメージ的には四角く、入口は広く大きいガラスである。 →シカゴ現代美術館と似ているなという印象を受けた。 →公共施設でなく、わくわくするような空間だとよいと思った。</p>	<p>委員 事務局 会長 委員</p>
<p>先日、多方面からリアを見たときに「リア」と文字が入っているだけで、壁が活用されていないと感じた。電光掲示板など、今何を開催しているか等掲示出来たら良いのではないか。</p>	<p>委員</p>
<p>開館の1年前あたりから街全体で美術館を盛り上げていく必要があると思う。</p>	<p>委員</p>
<p>欧米の建築をみると、1年後の完成図や進捗状況も公開している。リアの隣に美術館ができることを告知する必要があると思う。</p>	<p>会長</p>
<p>川口に素晴らしい美術館ができるということを数年前から市民や内外に訴えていくことが重要だと思う。そのためにはリアの催し物と絡めて美術館を市民内外に広めていく必要があると思う。</p>	<p>委員</p>
<p><美術館外観の画像提示> 植木がたくさん植えられそうでよい。</p>	<p>事務局 委員</p>
<p>リア側の壁面を広告材料に使うということが追加の新しい提案である。幕などを活用して、いよいよできるんだというカウントダウンして伝えてい</p>	<p>会長 委員</p>

<p>く必要があると感じる。壁の利用としては、リリアのコンサートで垂れ幕何円、など貸し出しできればよいと思う。</p>	
<p>リリアの外装に美術館があと何日でできる、など PR するのが良いと思う。</p>	会長
<p>チラシを置いたり、市の掲示板に張り出す、などの PR を考えている。全部行ったとしてもすべて周知徹底できるかはわからない。</p>	事務局
<p>→HP の開設を先んじてしたほうがいいのか？</p>	委員
<p>→JR の壁への広告料はかかるのか。</p>	委員
<p>→かかる。</p>	委員
<p>リリアの壁は活用できるのではと思う。線路に向かっている壁面は利用できると思う。</p>	会長
<p>リリアの改修と美術館建設を一緒に実施するので、改修によっては壁面が使えない可能性もある。</p>	事務局
<p>川口市民として生活していると、公民館はあまり活用しない。利用する人はかなり限定的であると思う。</p>	委員
<p>川口の公民館はいい公民館が多い。会議室もある。情報発信としてはよいと思う。</p>	委員
<p>美術館がオープンする日に近くの小学生を招いてはどうか。</p>	委員
<p>宣伝という視点で言うと森美術館には SNS 専門の部署がある。SNS に強い人を集めるのもよいと思う。</p>	委員
<p>アニメ展があっても面白いのではないか。</p>	委員
<p>アニメの原画展は思っている以上に人気があると思う。人気があるからといって特化してはいけませんが、来てもらうきっかけとして年 1 回でも開催できると良いのではないか。</p>	委員
<p>昨今では現代美術館が増加しているという印象を受けた。川口で美術の系統はあるのか。</p>	委員
<p>基本的には地元の美術を保存・また学術的に基礎づける。</p>	委員
<p>「文化芸術拠点」を英語で言うとどうなるのか。</p>	委員
<p>→「拠点」は一言で言うと「core」。</p>	会長
<p>→ネーミングも重要だと思う。今は専門というものが重視される。現在ばら</p>	委員

<p>けている「専門」をどうまとめていくかが重要だと思う。西洋文化と日本文化を研究しながら、いずれ学校なども整備し、川口に行けば学べるような拠点となるとよい。</p>	
<p>テーマソングについて前回申し上げたが、イメージソングもあると思う。</p>	委員
<p>多くの意見が出たので、次回にむけて付け加えていただきたい。事例等も少しずつ膨らませて、最終的に報告書のイメージで作成してもらいたい。最後に市長に報告する。</p>	会長
<p>アトリウムを使用する時、パーテーション等はどのように使うのか？ →パーテーションは必要だと思っている。美術展をアトリウムで行うのが良いと思うので、展示に見合ったパーテーションを置く予定でいる。アトリウムで展示を行うと外から見える。開催している内容が見えると外からお客さんが入ってきやすいのではないかとと思っている。</p>	委員 事務局
<p>どのようなパーテーションが使われるのか？穴あきボードなどだと、空間的にイメージがあまり良くないのでは。 →パーテーションや位置を工夫して見栄えのするような作品展示をしていければ良い。</p>	委員 事務局
<p>実際に使う場合に「こうやって使いたい」という備品があるのとないのとでは異なる。以前楽屋に入れる際に衣装をかけるものよりも高いものを入れた経験もあるので、今後使用備品の発明をしていく必要があると思う。</p>	委員
<p>美術館の設計が進んでいるが、細かい備品は運営側の話しである。現在は受託事業者に入ってもらっているので、良い事例も提示してもらえればよい。どこにでもあるものでなく、アートを感じさせられるものだとよい。</p>	会長
<p>これまではフリーディスカッションを行ったが、今後の検討作業では、ある程度のテーマに沿った議論とする予定。</p>	事務局
<p>【6 終了】</p>	